

大阪教育大学附属天王寺中学校評価資料
—生徒，保護者，教師を対象とする調査結果—

令和2年3月

(1) 調査内容

調査は、生徒、保護者、教員を対象に実施し、次の内容について回答を求めた。

【生徒・保護者用】

Q1 中学・高校の別
Q2 性別（生徒の性別）
Q3 学年
Q4 組
Q5 SSH 科目受講の有無（中学生は該当せず）

生徒：「学校のように、あなたの1学期から今までの学校生活を振り返ってどう思いますか」
保護者：「学校のようにお子さまの1学期から今までの学校生活をどう思われますか。」
1：そう思わない、2：あまりそう思わない、3：少しそう思う、4そう思う

Q6 この学校は、学校の考え方や目標をきちんと生徒に伝えている。
Q7 この学校の先生は、生徒に興味・関心を持たせるため、授業に工夫をこらしている。
Q8 この学校の生徒は、お互いを認め尊重しあっている。
Q9 この学校では、先生と生徒がよく信頼しあっている。
Q10 この学校は、生徒が成長するのにふさわしい環境である。
Q11 将来の目標を持ち、それに向けて努力している。
Q12 興味・関心を持って授業を受けている。
Q13 学習において、予習・復習や課題の提出などに、普段から努力している。
Q14 他人の話をよく聞くことができ、また自分の考えを他人に伝えることができる。
Q15 よく観察して調べたり、物事を考えたりという、探求の活動に積極的に取り組んでいる。
Q16 私は他の生徒と協力して活動している。
Q17 学校で、まわりの人を大切にしている。
Q18 学校で、挨拶や礼儀に気を配って生活している。
Q19 学校の決まりごとをよく守っている。
Q20 学校でやりたいことができ、生活が充実している。
Q21 今、学校生活において心配や、悩んでいることは特にない。
Q22 この学校のことを誇りに思っている。

Q6 について、平成 28 年度以前の設問は「将来の目標を持ち、それに向けて努力している。」であったが、本アンケートの調査対象が生徒よりも学校そのものであるとの考えから、昨年度から記載のとおりに変更した。

Q20 について、平成 28 年度以前の設問は「充実した学校生活を送っている」であったが、より具体的な設問とするために、昨年度から記載のとおりに変更した。

【教師用】

Q1	中学・高校の別
Q2	性別
Q3	SSH 関連授業の担当の有無（中学校は該当せず）
「1学期から今までのご自身の教育活動を振り返ってください」	
1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：少しそう思う，4そう思う	
Q4	生徒に将来の目標を持たせ，それに向けて努力させている。
Q5	探求的な活動を意識して，生徒に積極的に取り組ませている。
Q6	読解力や表現力の育成を意識して，生徒を指導している。
Q7	生徒に興味・関心を持たせるため，授業に工夫をこらしている。
Q8	予習・復習や課題の提出など，普段から生徒に努力させている。
Q9	生徒のようすをよく把握しながら指導や相談への対応ができています。
Q10	他の生徒と協力して活動するよう指導している。
Q11	人権を尊重した仲間作りを意識して指導している。
Q12	時間を意識した生活をするよう指導している。
Q13	学校にふさわしい服装を意識した生活をするよう指導している。
Q14	教室などの整理整頓や美化を意識した生活をするよう指導している。
Q15	生徒が充実した生活を送れるように努力している。
Q16	本校の教育目標を理解して教育活動を行っている。
Q17	自分の指導目標や考え方は生徒に理解されている。
Q18	保護者への対応は自信を持ってできている。
Q19	職場環境を良くするよう努めている。
Q20	熱意を持って日々の仕事に取り組んでいる。

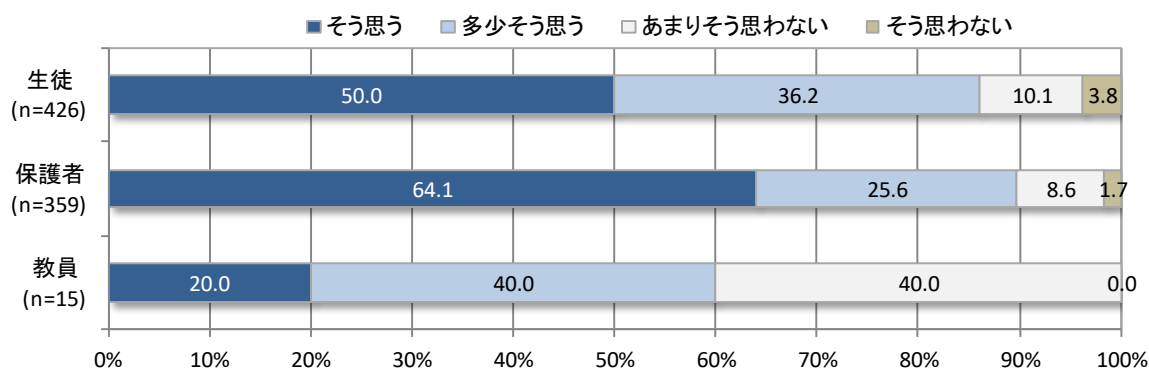
(2) 回答者数

対象ごとの有効回答者数は下表のとおりである。

対象	属性	性別			学年				合計
		男性	女性	無記不明	1年	2年	3年	無記不明	
生徒 (n=420)		211	211	4	132	141	153	0	426
		49.5	49.5	1.0	31.0	33.1	35.9	0.0	100.0
保護者 (n=402)		173	185	1	100	128	131	0	359
		48.2	51.5	0.3	27.9	35.7	36.4	0.0	100.0
教員 (n=21)		9	6	0					15
		60.0	40.0	0.0					100.0
全体 (n=843)		393	402	5	232	269	284	0	800
		49.1	50.3	0.6	29.6	34.3	36.2	0.0	100.0

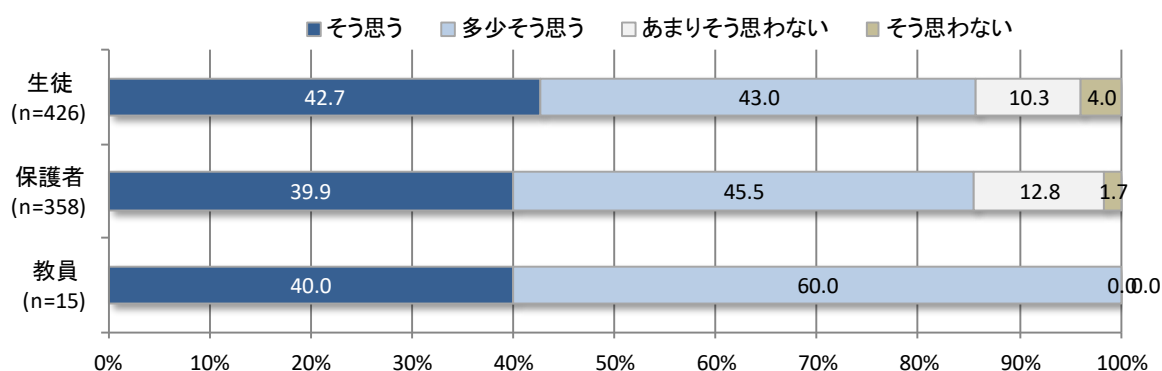
(3) 学校生活にかかわる自己評価の（クロス集計）結果

① 将来の目標 (p<0.01)



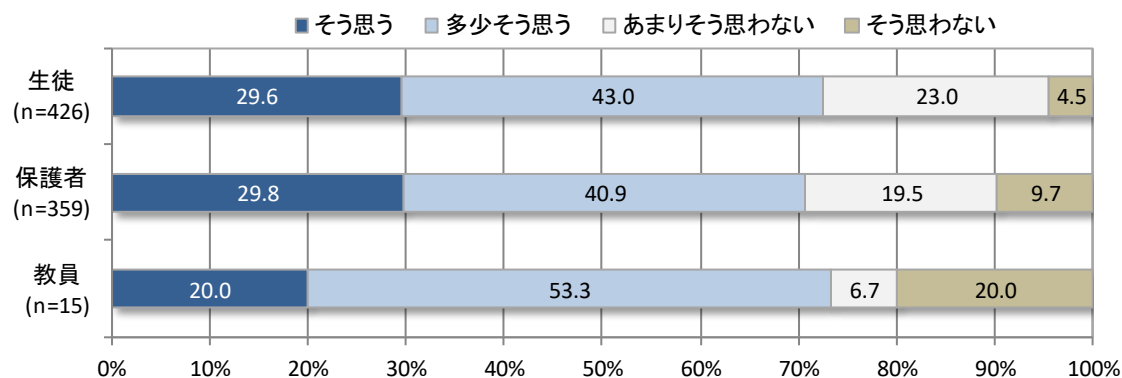
肯定的な回答が生徒，保護者では9割近くとなっているが，教員では6割にとどまった。

② 授業の工夫



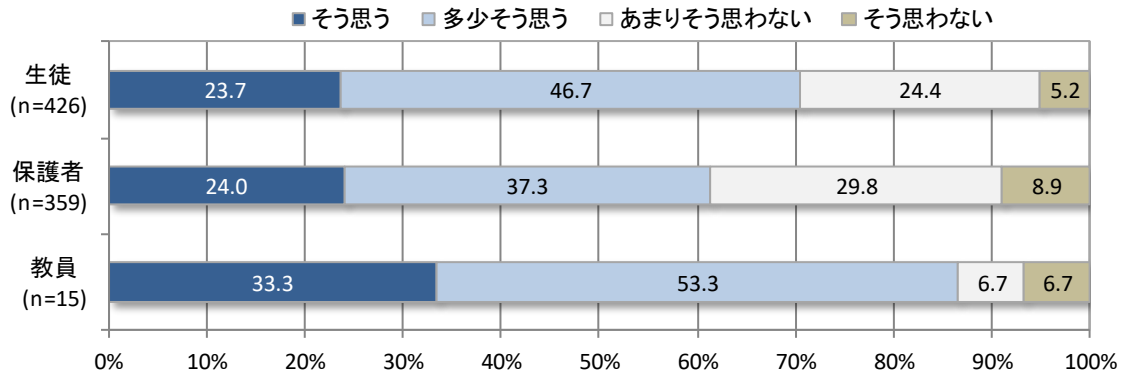
生徒，保護者とも肯定的な回答の比率が8割を超えており，教員は全員が肯定的であった。

③ 予習復習 (p<0.05)



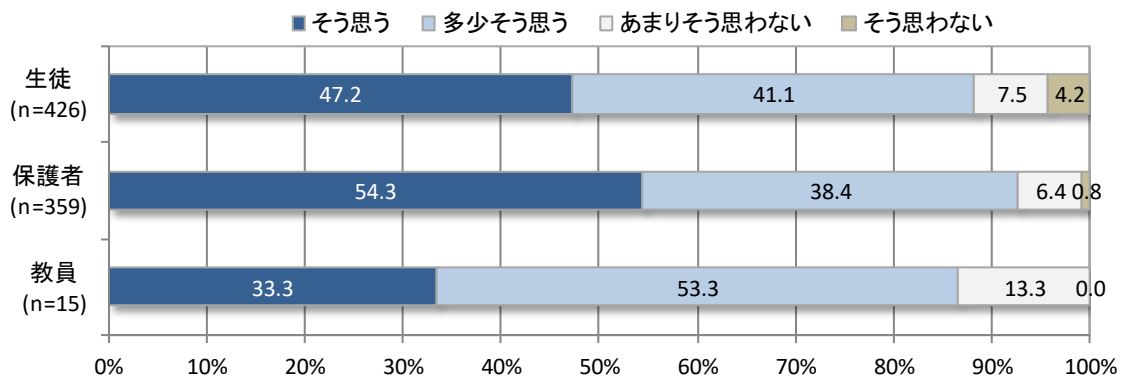
生徒，保護者，教員とも肯定的な回答の比率が，7割を超えていた。

④ 読解力や表現力 (p<0.05)



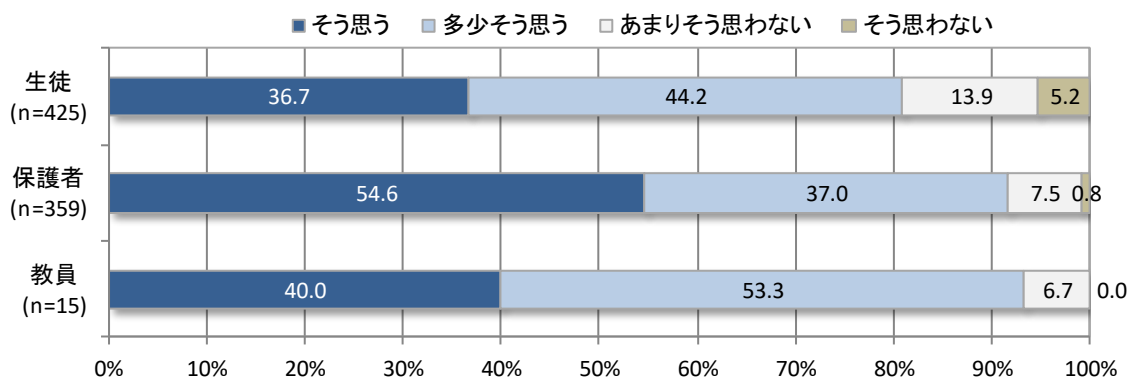
肯定的な回答の比率が、教員、生徒、保護者の順で、教員と保護者には大きなポイントの差が認められた。

⑤ 探求的な活動 (p<0.05)



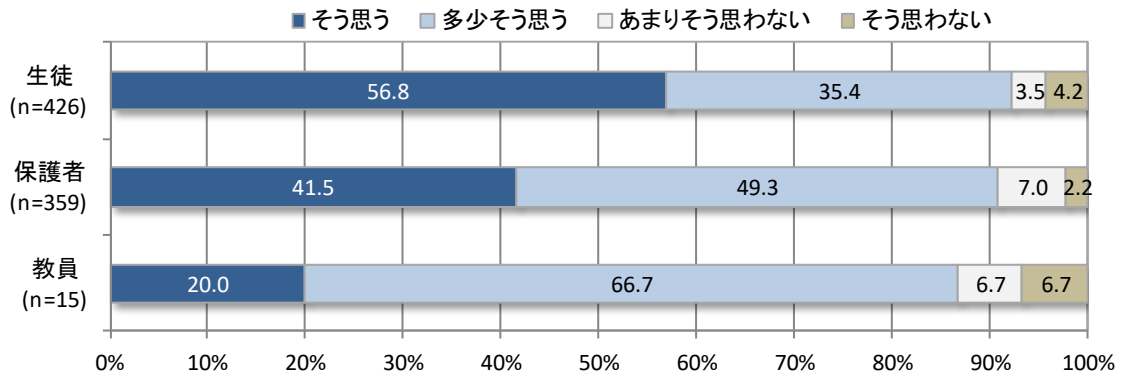
生徒、保護者、教員とも約1割は否定的な回答をしている。

⑥ 他の生徒と協力 (p<0.01)



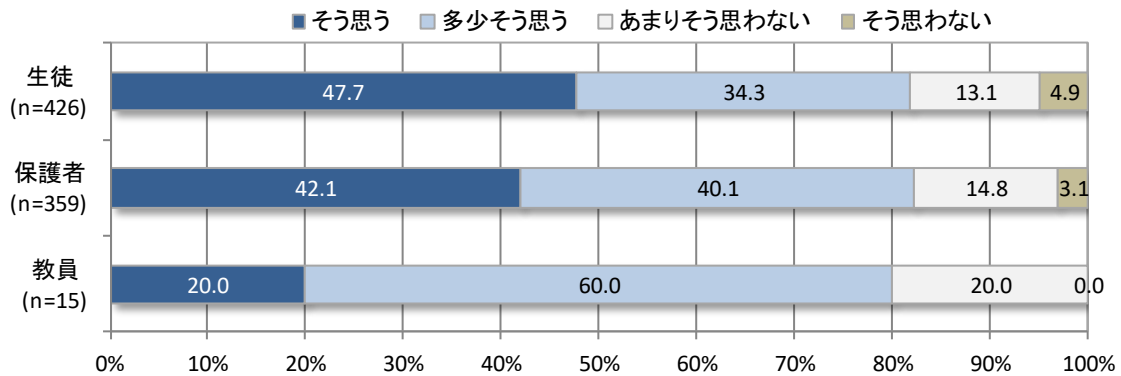
保護者、教員ともに9割が肯定的な回答をしているが、生徒は8割にとどまった。

⑦ 人権を尊重した仲間作り (p<0.01)



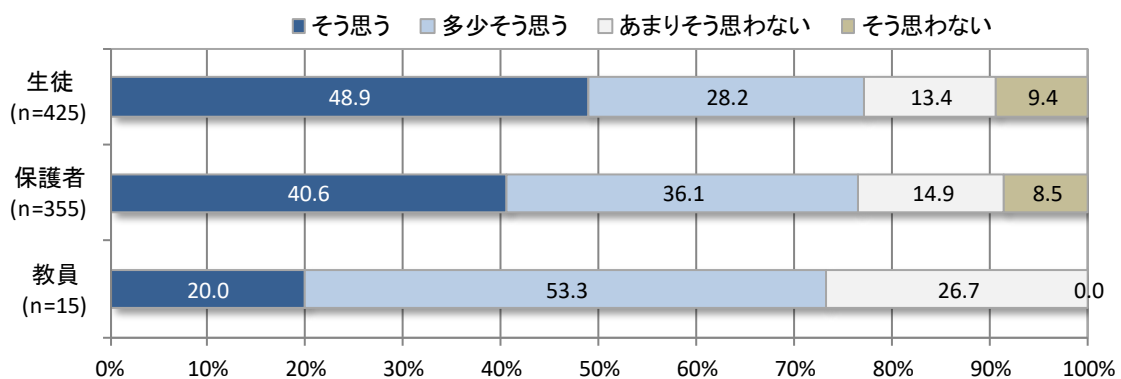
生徒、保護者は肯定的な回答が9割を超えていたが、1割を超える教員が否定的な回答をした。

⑧ 充実した生活 (p<0.01)



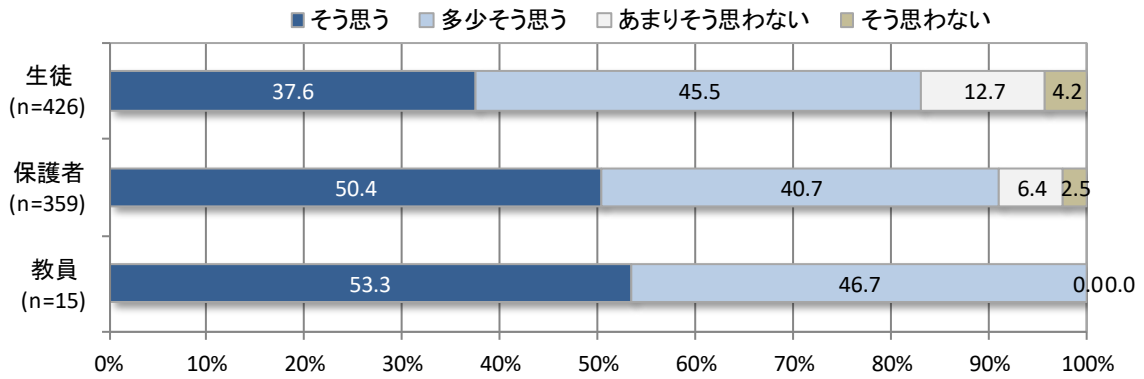
生徒、保護者、生徒の9割以上が肯定的な回答をした。

⑨ 生徒の様子への把握 (p<0.05)



生徒、保護者、教員の肯定的な回答の割合はあまり変わらないが、教員の肯定的な回答がやや他を下回った。

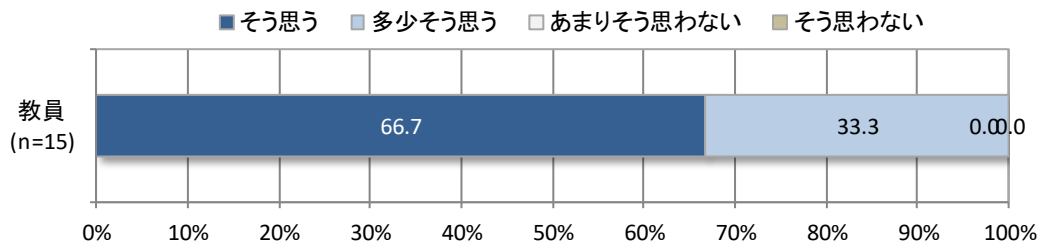
⑩ 決まりの遵守 (p<0.01)



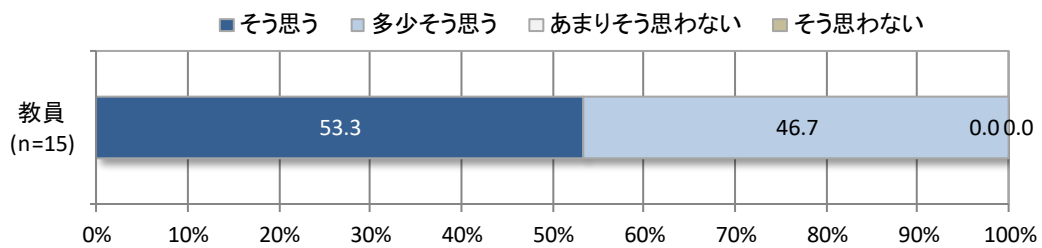
生徒の8割、保護者の9割、教員の10割が肯定的となっている。

注) 教員の「決まりの遵守」は、教師用の「時間を意識した生活を指導している」「身なりを意識した生活を指導している」「教室の整理整頓を意識した生活を指導している」の3つの質問に対する回答の平均で代用した。

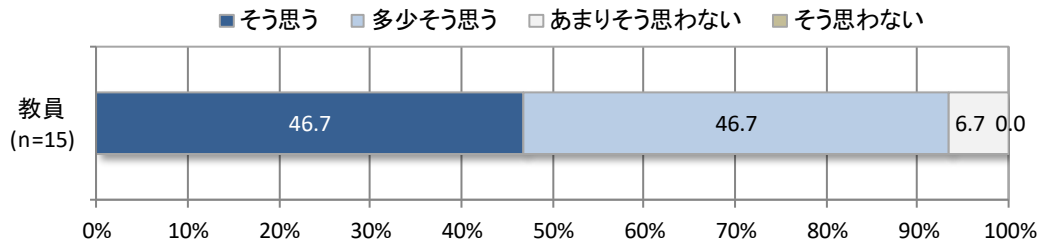
⑪ 時間を意識した生活の指導



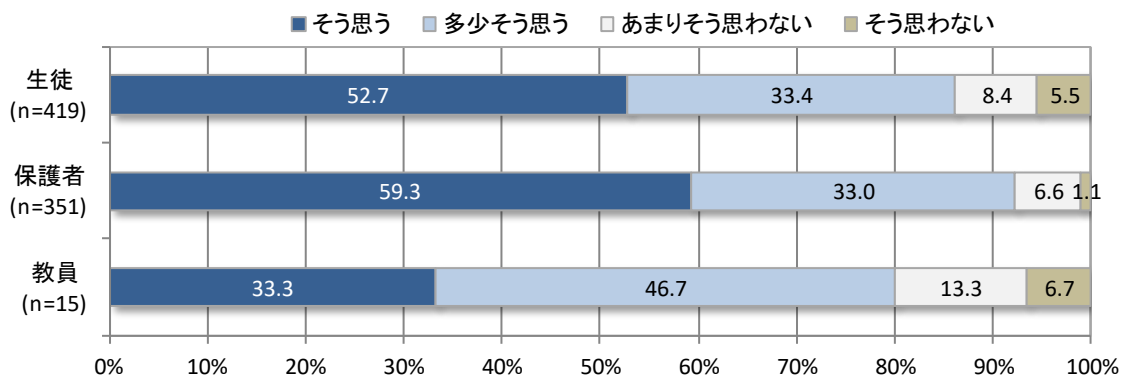
⑫ 学校にふさわしい服装の指導



⑬ 教室などの整理整頓の指導

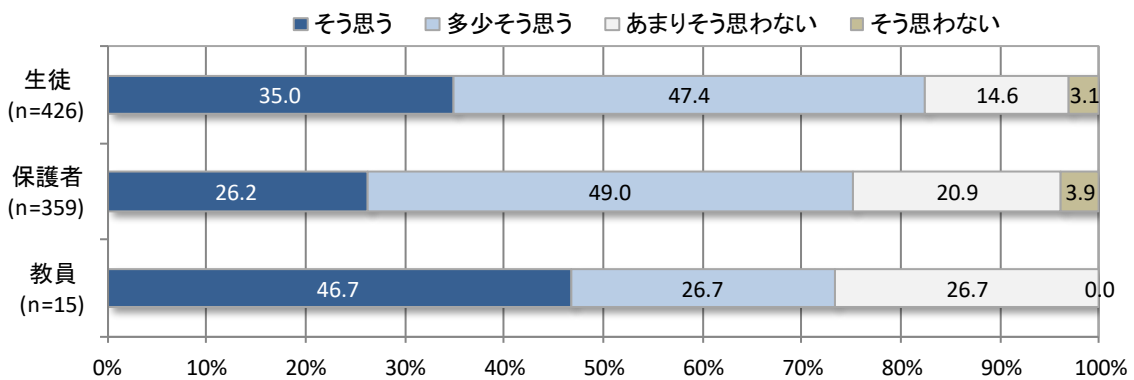


⑭ 学校への誇り（教員は本校の教育目標の理解）(p<0.05)



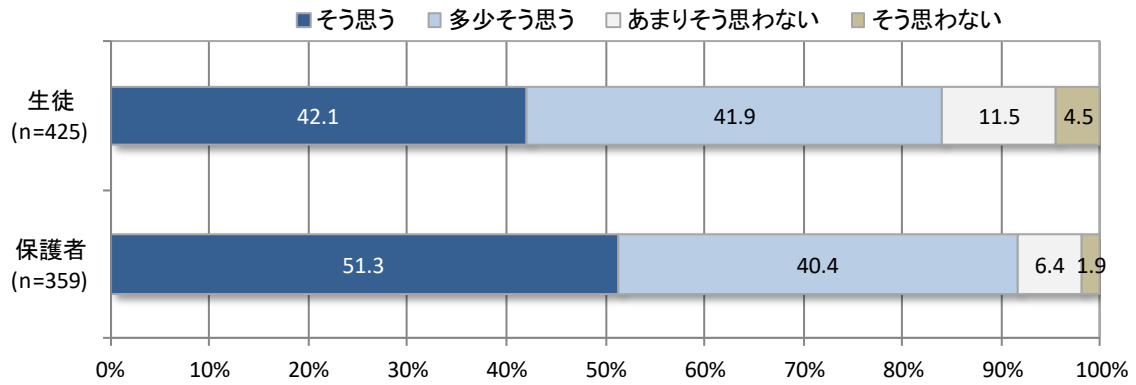
肯定的な回答は、保護者、生徒、教員の順で、8割から9割以上が肯定的であった。

⑮ 興味関心（教員は指導目標）(p<0.05)

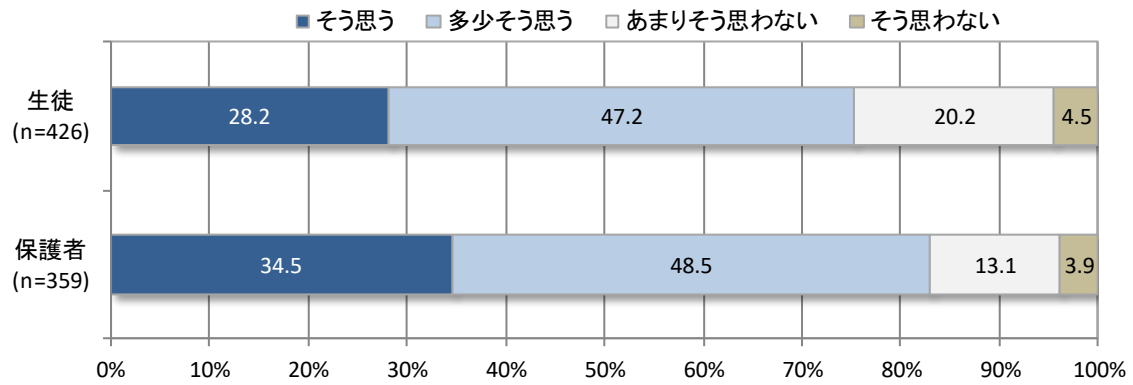


肯定的な回答は、生徒、保護者、教員の順で高かった。

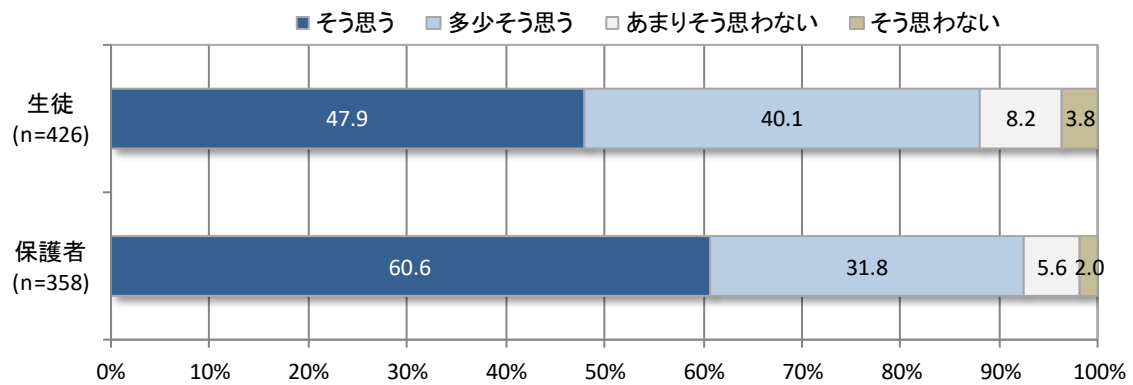
⑩ 生徒の認め合い (p<0.01)



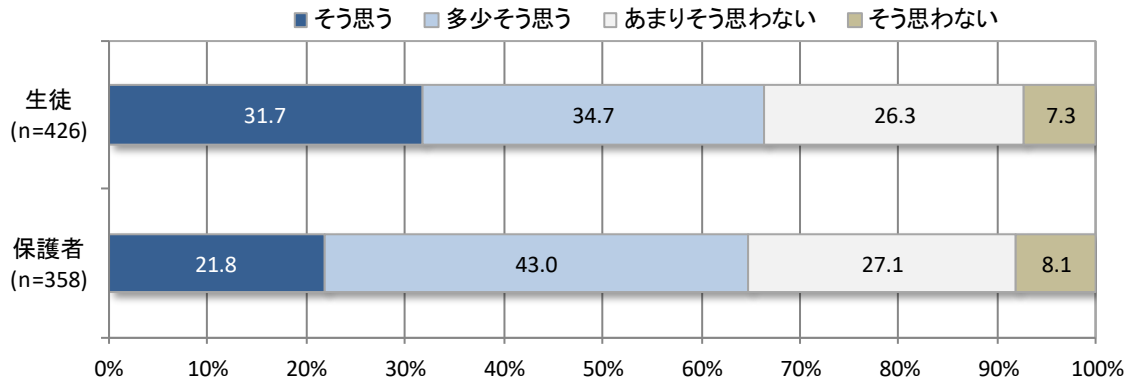
⑪ 教師と生徒の信頼 (p<0.05)



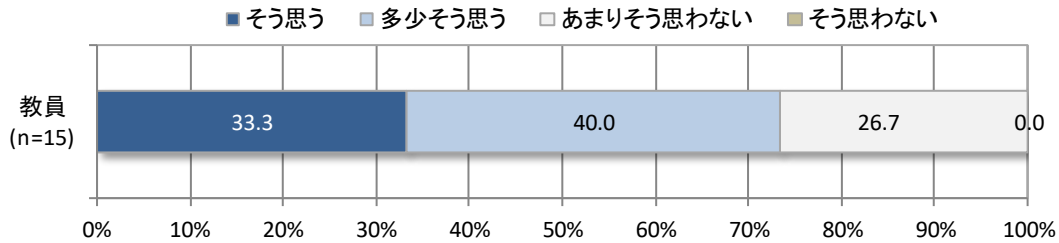
⑫ ふさわしい環境 (p<0.01)



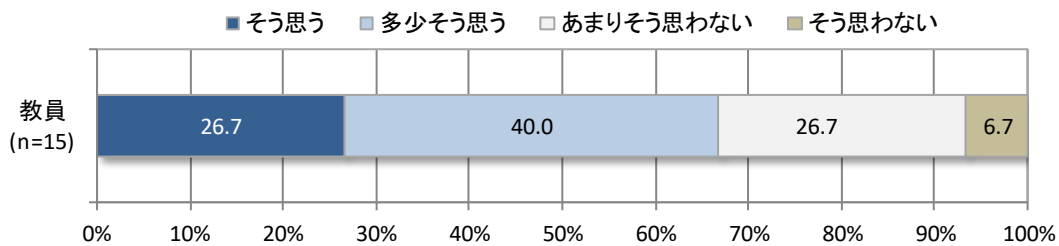
⑱ 目標と努力 (p<0.05)



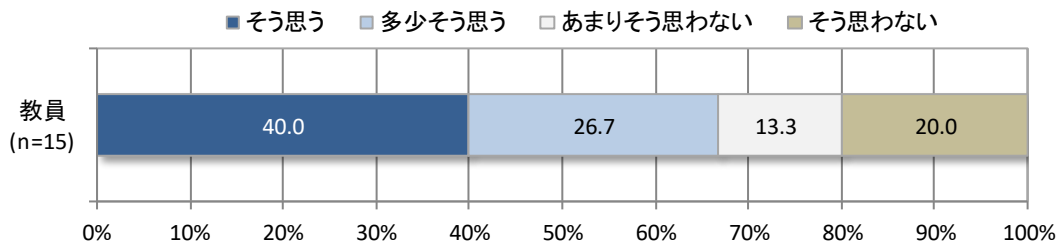
㉑ 保護者に自信を持って対応しているか (教員)



㉒ 職場環境を良くするために努めているか (教員)

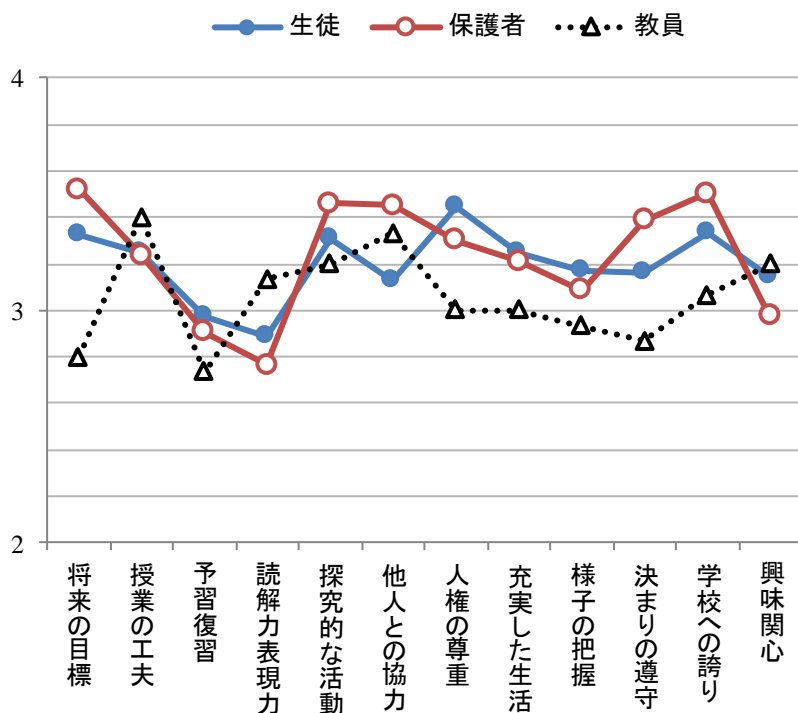


㉓ 熱意をもって日々の仕事に取り組んでいるか (教員)



(4) 学校生活にかかわる自己評価の比較

① 生徒，保護者，教員間比較



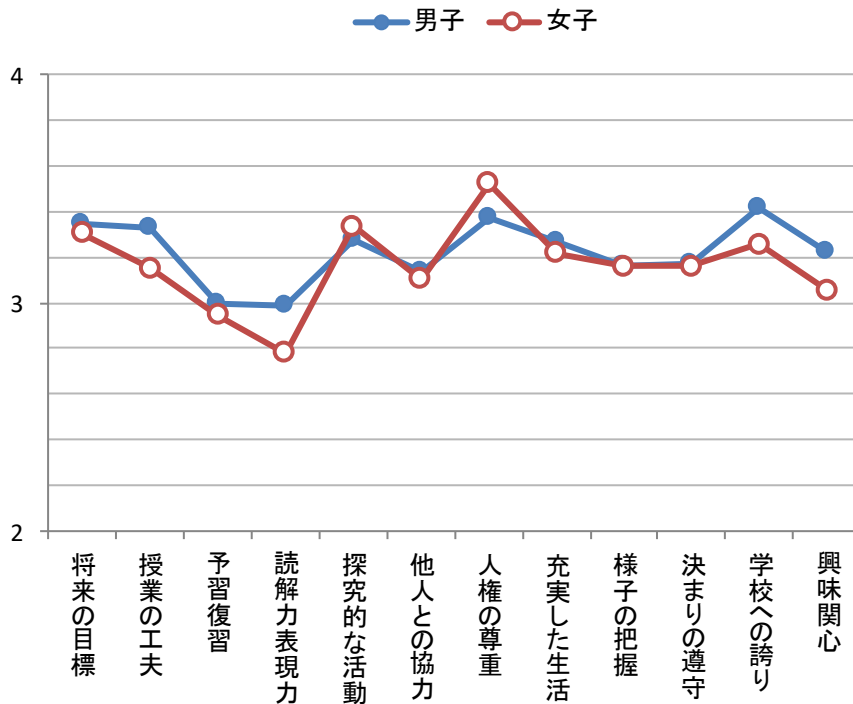
項目	生徒	保護者	教員	F 値	有意水準	多重比較	
将来の目標	3.32	3.52	2.80	11.08	p<0.01	保護者>生徒	保護者>教員
授業の工夫	3.24	3.24	3.40	0.33			
予習復習	2.98	2.91	2.73	1.00			
読解力表現力	2.89	2.76	3.13	2.96			
探究的な活動	3.31	3.46	3.20	4.59	p<0.05		
他人との協力	3.12	3.45	3.33	18.20	p<0.01	保護者>生徒	
人権の尊重	3.45	3.30	3.00	5.98	p<0.05		
充実した生活	3.25	3.21	3.00	0.73			
様子の把握	3.17	3.09	2.93	0.97			
決まりの遵守	3.16	3.39	2.87	10.38	p<0.01	保護者>生徒	
学校への誇り	3.33	3.50	3.07	6.06	p<0.05		
興味関心	3.14	2.97	3.20	4.71	p<0.05		

「将来の目標」から「興味を持って授業を受けている（指導目標を理解している）」までの 12 項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，生徒，保護者，教員の各項目に対する回答の平均を算出し，平均の差の推計に一要因分散分析を施した。多重比較には Tukey の方法を用いた。

多重比較の結果，「将来の目標」を始め 3 項目に有意差が認められた。すべての項目で保護者のポイントは生徒より有意に高い。保護者が学校を信頼し，評価していることが読み取れる。

包括的にポイントを比較すると，「将来の目標」，「人権の尊重」，「学校への誇り」といった学校生活の基本的な項目のポイントが生徒や保護者で相対的に高いものの，教員はそれほどではなく，自身の指導に対し厳しい評価を行っていると考えられる。

② 生徒の性別による比較

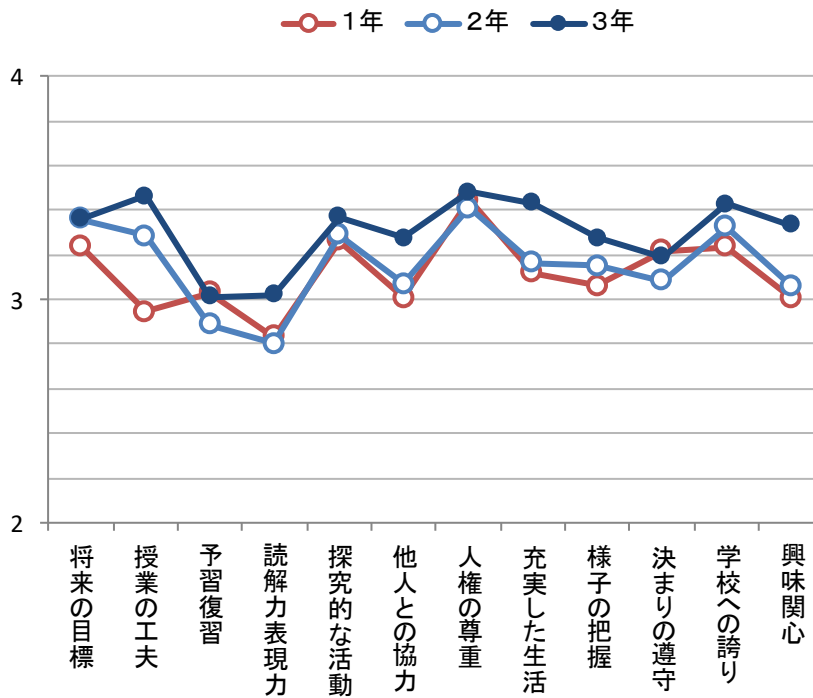


	男子	女子	t 値	有意水準
将来の目標	3.35	3.30	0.542	
授業の工夫	3.33	3.15	2.274	p<0.05
予習復習	3.00	2.95	0.635	
読解力表現力	2.99	2.78	2.559	p<0.05
探究的な活動	3.28	3.34	0.740	
他人との協力	3.14	3.10	0.414	
人権の尊重	3.37	3.53	2.126	p<0.05
充実した生活	3.27	3.22	0.562	
様子の把握	3.17	3.16	0.041	
決まりの遵守	3.17	3.16	0.121	
学校への誇り	3.41	3.26	1.907	
興味関心	3.23	3.06	2.279	p<0.05

生徒の性別ごとに、「将来の目標」から「興味関心を持って授業を受けている」までの 12 項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして平均を算出し，平均の差の推計のために対応のない t 検定を施した。

その結果，「授業の工夫」，「読解力表現力」などの 4 項目で性差を認めることができた。有意差の認められた項目においては「人権の尊重」を除き男子のポイントが女子より高く，これらはいずれも授業中の指導に対する評価が中心であると考えられるため，男子が授業をより充実したものと感じていると考えられた。

③ 生徒の学年による比較



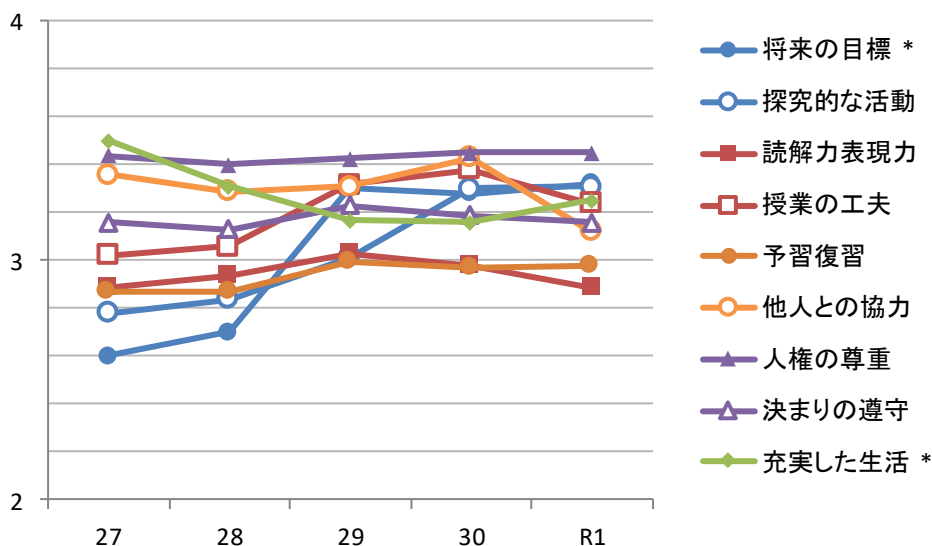
	1年	2年	3年	F 値	有意水準	多重比較		
将来の目標	3.24	3.36	3.36	0.981				
授業の工夫	2.95	3.28	3.46	16.352	p<0.01	3年>1年	2年>1年	
予習復習	3.03	2.89	3.01	1.226				
読解力表現力	2.83	2.80	3.02	3.057				
探究的な活動	3.27	3.29	3.37	0.736				
他人との協力	3.01	3.07	3.27	4.094	p<0.05			
人権の尊重	3.45	3.41	3.48	0.334				
充実した生活	3.12	3.16	3.43	5.671	p<0.05			
様子の把握	3.06	3.15	3.27	1.701				
決まりの遵守	3.22	3.09	3.19	1.074				
学校への誇り	3.24	3.32	3.43	1.803				
興味関心	3.01	3.06	3.33	7.625	p<0.01	3年>1年		

「将来の目標」から「興味関心を持って授業を受けている」までの12項目に対する回答（1：そう思わない，2：あまりそう思わない，3：多少そう思う，4：そう思う）を比率尺度とみなして，各学年の生徒の各項目に対する回答の平均を算出し，平均の差の推計に一要因分散分析を施し多重比較には Tukey の方法を用いた。

その結果，4項目で学年ごとの平均値に有意差は認められ，「授業の工夫」，「興味関心」の2項目が多重比較で有意となった。包括的に学年を比較すると，学年進行とともにポイントが上がり，3年生のポイントが最も高かった。

(5) 調査項目に対する回答の年度推移

○生徒全体



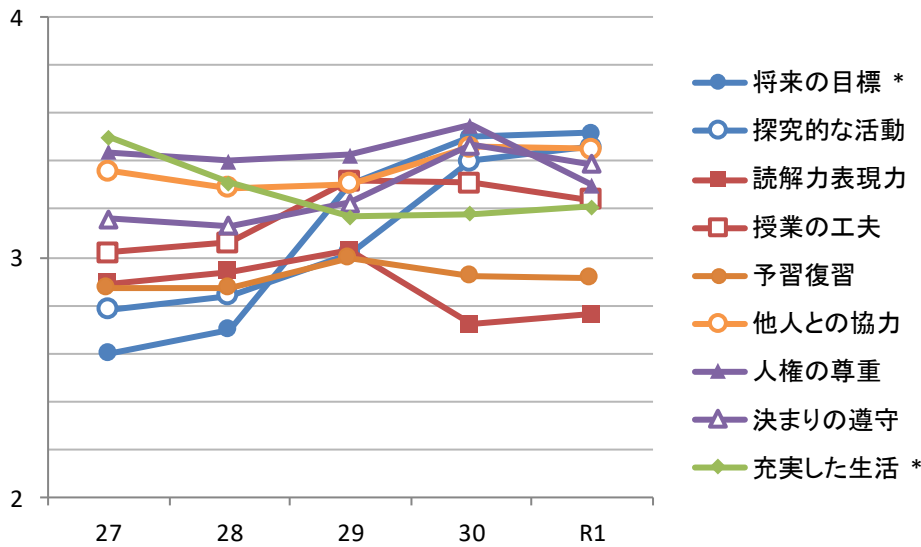
「*」のついた項目は、設問が変更されたため、平成28年度以前との単純比較はできない。

生徒

年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差
将来の目標*	477	2.60	0.90	463	2.70	0.90	466	3.30	0.75	417	3.28	0.77	426	3.32	0.80
探究的な活動	477	2.78	0.77	461	2.84	0.79	465	3.02	0.80	420	3.30	0.78	426	3.31	0.79
読解力表現力	477	2.89	0.76	462	2.94	0.78	464	3.03	0.76	418	2.98	0.85	426	2.89	0.82
授業の工夫	477	3.02	0.78	463	3.06	0.78	466	3.32	0.77	420	3.38	0.70	426	3.24	0.79
予習復習	477	2.87	0.92	463	2.87	0.90	465	2.99	0.89	419	2.97	0.85	426	2.98	0.84
他人との協力	476	3.36	0.74	462	3.29	0.79	465	3.31	0.75	420	3.43	0.71	425	3.12	0.84
人権の尊重	475	3.44	0.68	462	3.40	0.74	466	3.43	0.72	420	3.45	0.73	426	3.45	0.76
決まりの遵守	475	3.16	0.75	463	3.13	0.80	464	3.23	0.80	419	3.19	0.77	426	3.16	0.80
充実した生活*	471	3.50	0.78	462	3.31	0.87	466	3.17	0.90	420	3.16	0.85	426	3.25	0.86

「探究的な活動」の継続した増加は認められるものの、「他人との協力」項目は漸減の傾向が認められる。「充実した生活」は漸減傾向あったものの、30年度以降上昇が認められる。このことが設問の変更に伴う変化であるかどうかの詳細な検証が必要である。他の項目は概ね増加の傾向もしくは変化がないと思われる。生徒にとって充実した環境の整備が進んでいると考えられるが、「授業の工夫」、「読解力表現力」が今後減少しないか注視しておく必要がある。

○保護者



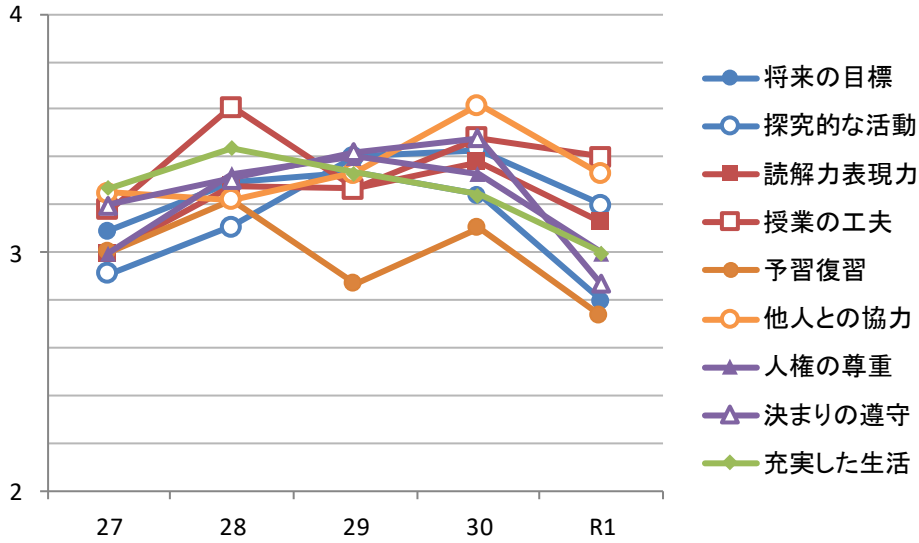
「*」のついた項目は、設問が変更されたため、平成28年度以前との単純比較はできない。

保護者

年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差
将来の目標*	420	2.57	1.01	433	2.46	0.95	416	3.43	0.78	401	3.50	0.75	359	3.52	0.72
探究的な活動	422	2.67	0.88	432	2.69	0.91	416	2.82	0.88	401	3.40	0.68	359	3.46	0.65
読解力表現力	419	3.03	0.78	432	2.99	0.81	416	3.07	0.74	401	2.72	0.88	359	2.76	0.92
授業の工夫	421	3.08	0.82	433	3.06	0.82	416	3.36	0.73	401	3.31	0.75	358	3.24	0.73
予習復習	416	2.95	0.95	433	2.88	0.97	416	2.94	0.95	401	2.92	0.96	359	2.91	0.94
他人との協力	421	3.56	0.60	433	3.47	0.73	416	3.49	0.70	400	3.46	0.65	359	3.45	0.67
人権の尊重	417	3.58	0.60	432	3.54	0.65	416	3.57	0.62	401	3.55	0.61	359	3.30	0.70
決まりの遵守	420	3.50	0.69	433	3.46	0.69	416	3.44	0.72	401	3.47	0.70	359	3.39	0.72
充実した生活*	418	3.53	0.74	433	3.46	0.69	416	3.20	0.81	400	3.18	0.79	359	3.21	0.80

「探究的な活動」と「将来の目標」の継続した増加は認められるものの、「読解力表現力」と「充実した生活」項目は漸減の傾向が認められる。「将来の目標」の変化が大きいですが、このことが設問の変更に伴う変化であるかどうかの詳細な検証が必要である。

○教員



教員

年度	平成 27 年度			平成 28 年度			平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差	度数	平均	標準偏差
将来の目標*	11	3.09	0.70	17	3.29	0.59	15	3.33	0.47	21	3.24	0.61	15	2.80	0.75
探究的な活動	11	2.91	0.70	18	3.11	0.83	15	3.40	0.49	21	3.43	0.49	15	3.20	0.65
読解力表現力	11	3.00	0.78	18	3.28	0.90	15	3.27	0.77	21	3.38	0.79	15	3.13	0.81
授業の工夫	11	3.18	0.98	18	3.61	0.61	15	3.27	0.68	21	3.48	0.59	15	3.40	0.49
予習復習	9	3.00	0.71	18	3.22	0.67	15	2.87	0.81	21	3.10	0.75	15	2.73	1.00
他人との協力	8	3.25	0.71	18	3.22	0.88	15	3.33	0.79	21	3.62	0.58	15	3.33	0.60
人権の尊重	10	3.00	0.82	18	3.33	0.69	15	3.40	0.80	21	3.33	0.64	15	3.00	0.73
決まりの遵守	11	3.20	0.69	18	3.31	0.60	15	3.42	0.61	21	3.48	0.66	15	2.87	0.88
充実した生活*	11	3.27	0.65	18	3.44	0.71	15	3.33	0.60	21	3.24	0.61	15	3.00	0.63

すべての項目で前年度より減少した。隔年ごとに上下を繰り返す傾向があるが、これはサンプル数が少ないためであると考えられる。